

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
生産管理論	共通	3・4年生・後期	2単位	選択	国狭 武己
履修の前提条件	①生産(モノづくり)に関心があること。②参考書として生産管理に関する本を1冊購入し、目を通しておくことが望ましい。③1年次配当の経営学入門・経営学総論とマーケティング論、2年次配当の経営戦略論を履修済みであることが望ましい。④関連科目として、労務管理論と管理会計論Ⅰ・Ⅱを履修することが望ましい。⑤「生産管理論」用のノートを準備しておくこと。 ※注意事項:授業中のマナー厳守(私語、飲食、正当な理由のない遅刻、勝手な退室、携帯電話の使用等)はしないこと)				
授業概要 (Course Outline)					
厳しい競争下にある現代の製造企業におけるモノづくりとしての生産をどのように管理していったらよいかを学ぶ。限られた経営資源を有効活用して、競争他社よりも品質や機能などが優れている(あるいは特色ある)製品をより安くより早く提供できるようにし、利益につなげることが生産管理の基本である。ここでは、主として生産管理に関する管理の考え方や基本的方法を学ぶ。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
実践的な生産管理を推進できる力量のもととなる基礎的知識を習得すること。(1)生産管理と生産システムの関係、(2)生産に必要な物(工場、設備、資材等)の管理、(3)品質管理、(4)工程管理、(5)作業管理等の考え方や基本的方法が理解できるようになること。					
事前学習の内容	次の授業用の配付資料をよく読んでおくこと。また参考書を見て、次の授業テーマと関連する箇所があれば、そこをのこところを読んでおくこと。そして自分の考えや疑問点等を明確にしてノート(担当者が適宜チェックする)に書き込んでおくこと。				
事後学習の内容	ノート(授業内容のポイント等を記入)や配付資料、参考書等を読みながら復習し、「事後学習メモ紙」(講義後(1回目とディスカッション回と最終回は除く)に受け取り、次回初めに提出:全10回)に項目に沿って記入し、提出すること。なお、自分の意見や疑問点は、よく考えよく調べた上で書くようにする。また、参考文献(ネットの参考も含む)は必ず記入すること。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
(1)「ミニッツペーパー」が授業の初めに配付されるので、授業の終わりに必要事項をすべて記入(出席要件)の上、授業のポイントとコメント(意見・感想・疑問点等)を記入して提出すること。(2)ディスカッション時間が2回設けられるので、積極的にディスカッションすること。(3)ディスカッションの結果を、各自、次回の初めにレポートすること。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡方法(メール)・・・メールアドレス		1615798001@jcom.home.ne.jp			
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
学習の確認:ポートフォリオ(科目別履修状況チェック表)にもれなく、遅滞なく、しっかり記入すること。提出回数は2回とする。提出日時は、1回目は第7回授業の初め、2回目は第16回(最終)授業の初めとする。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業ガイダンス…シラバス、授業の進め方等の説明		
第2回	生産管理の体系化…生産管理と生産システムの関係を通して考察		
第3回	工場立地と工場レイアウト…工場をどこにつくるか、工場のレイアウトをどのようにするか等		
第4回	設備管理…生産設備(主として機械)の管理(保全制度等)等		
第5回	運搬・物流…運搬と物流、生産と物流、運搬・物流の機材、運搬分析、運搬・物流の効率化等 ＜第1回ディスカッション・チームの編成＞		
第6回	資材購買管理…購買と外注、購買サイクル等 ＜第1回ディスカッション・テーマの設定＞		
第7回	＜1回目ポートフォリオ(コピー)提出＞ 第1回ディスカッションと発表会		
第8回	＜第1回ディスカッション・レポート提出＞ 品質管理…品質、品質管理(QM)、QCサークル等		
第9回	工程研究…工程研究の方法、工程の改善、生産形態等、		
第10回	工程管理…工程管理の体系、日程管理の方法等		
第11回	作業研究…作業研究の方法、作業の改善と標準化、標準時間等 ＜第2回ディスカッション・チームの編成＞		
第12回	作業管理と現場管理…作業標準と作業管理、「見える化」活用、5S・3S等 ＜第2回ディスカッション・テーマの設定＞		
第13回	第2回ディスカッションと発表会		
第14回	＜第2回ディスカッション・レポート提出＞ 補足とまとめ等		
第15回	定期試験		
第16回	＜2回目ポートフォリオ(コピー)提出＞ 定期試験に関する復習と授業の振り返り等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
(使用しない。)(上記授業のテーマに関する資料を配付する。)			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
(特に指定しない。)(「生産管理」「生産システム」「生産マネジメント」「経営工学」「トヨタシステム」あるいは「生産」「製造」等の文字が書名に入ったものをできるだけ早い時期に(できれば事前に)購入することが望ましい。また上記・授業計画中の各テーマ(例えば、工場立地、設備管理、資材購買管理、品質管理、工程管理、作業管理等)に関する文献は、そのテーマに関心がある人にとって、その知識を深化させるのに役立つであろう。以上のどれか1冊以上購入することが望ましい。)			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
平常点(活動状況、授業中のマナー等)(5点)、「ミニツツペーパー」(提出回数(全15回)と記入内容)(15点)、「事後学習メモ紙」(提出回数(全10回)と記入内容)(15点)、ディスカッション・レポート(提出回数(全2回)と執筆量・内容)(10点)、ノート(記述内容)(5点)、定期試験(50点)			